

藤田医科大学病院

病院長名 今泉 和良

所在地 〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地 98

交通案内 名鉄線名古屋駅より（22 分）前後駅下車、名鉄バス（15 分）「大学病院」下車／桜通線名古屋駅より（35 分）徳重駅下車、名古屋市営バス徳重 13 系統または名鉄バス（16 分）「大学病院」下車／鶴舞線伏見駅より（21 分）原駅下車、名古屋市営バス徳重 13 系統（33 分）「大学病院」下車

■ 病院の特徴

当院脳神経外科の歴史は古く、日本における脳神経外科の黎明期に開講しております。主な診療圏は愛知の東部ですが、全国から多くの患者さんがいらっしゃいます。脳神経外科は内科、外科などと並ぶ基本診療科の一つであり、外科的治療だけではなく脳腫瘍、脳血管障害、脊髄脊椎疾患、機能疾患（てんかん、三叉神経痛、顔面痙攣）、小児脳神経疾患（先天奇形を含む）、頭痛、認知症など総合的神経疾患の予防、治療からリハビリテーションまで行う診療科です。脳卒中分野では脳神経外科と脳卒中科と協力して、開頭手術、脳血管内治療の的確な選択による脳卒中中の包括的な診療を行っています。脳梗塞の超急性期治療に力を入れていることも特徴です。

■ 研修プログラムの特徴

《脳神経外科》

【研修プログラム名】脳神経外科専門研修藤田医科大学医学部プログラム

【研修目標】脳神経外科領域のあらゆる疾患に対して、予防や診断、手術的治療、非手術治療、リハビリテーション、救急医療 など、総合的かつ専門的知識と診療技能を獲得します。

【研修期間】4 年

【研修スケジュール】当プログラムでは年間約 800 件の手術および約 200 件の血管内治療を行う有数の治療実績をもとに、各部門の指導医（脳腫瘍(悪性・良性)、脳血管障害、脊髄・脊髄疾患、てんかん、神経内視鏡）から、手術指導などを通して、臨床医としての修練を支援します。特に若いうちから手術手技を習得するための教育に力を入れており、各種専門医、認定医の取得が可能です。また勉強会や実技講習などによって基本的な脳神経外科知識・技能を習得するための工夫をしています。研究も推進しており、脳腫瘍の遺伝子解析による個別化治療、中枢神経系の機能再生、血流動態解析に基づいた脳血管内治療の研究などを行っています

《脳卒中科》

【研修プログラム名】ハイブリッド脳血管外科医養成コース

【研修目標】脳血管障害に対する包括的治療技術を習得することを目的とする。具体的な到達目標として、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・日本脳神経血管内治療学会認定専門医・日本脳卒中の外科学会技術認定医を全て取得する。

【研修期間】3-4 年

【研修内容】以下のカリキュラムを通じ脳卒中専門医として必要な知識を習得するとともに、研修期間中に脳神経血管内治療専門医または指導医の指導のもとに、100 例以上の脳血管内治療を経験する。このうち、20 例は脳動脈瘤、5 例は脳・脊髄動静脈奇形または各種動静脈瘤、15 例は血行再建術（局所線溶療法を含む）を経験する。個々の到達レベルに応じて、約 20 例を術者として経験する。さらに、研修期間中に約 20 例の未破裂中大脳動脈瘤または内頸動脈瘤を術者として、かつ研修期間中に約 5 例のバイパスまたは CEA を術者として経験する。

院内実務研修

- (1)脳卒中患者のトータルマネジメント
- (2)手術（血管内治療含む）の適応を決定するための画像診断の訓練
- (3)手術（血管内治療含む）計画作成
- (4)助手として手術（血管内治療含む）全体の見取り
- (5)画像カンファレンスによる学習
- (6)手術ビデオによる学習
- (7)周術期管理
- off the job トレーニング
- (8)トレーニング用模型を用いたカテーテル操作実習
- (9)ガーゼの縫合訓練
- (10)チューブを用いた縫合訓練
- (11)手術室での顕微鏡操作実習



▲手術風景（脳神経外科）



▲手術風景（脳卒中科）



■ 主な連携施設

藤田医科大学ばんだね病院、藤田医科大学岡崎医療センター、トヨタ記念病院、公立西知多総合病院、浜松赤十字病院、八千代病院、名古屋記念病院、慶應義塾大学、社会医療法人禎心会病院、新百合ヶ丘総合病院、南生協病院、稲沢厚生病院、トヨタ地域医療センター、辻村外科病院、一里山今井病院、西知多リハビリテーション病院、半田中央病院、西尾病院、渡辺病院、ジャパン藤脳クリニック、野々村クリニック、いみずクリニック、清水口脳神経クリニック、愛知とうぶクリニック、たてやまクリニック ほか

■ メッセージ

脳神経外科 指導医（准教授 中江俊介）



研修医の皆さんこんにちは。当プログラムに興味をお持ちいただき、ありがとうございます。当院は名古屋市の東隣の豊明市にありますが、患者さんは大きな産業圏である近隣の地域のみならず時には遠方よりいらっしゃることもあり、皆さんに対して誠心誠意の診療を行うことを心がけています。当プログラムの特徴はそのバランスの良さにあると考えられます。臨床面では脳腫瘍、機能的疾患、脊椎脊髄疾患、小児脳神経疾患といった各種の領域において専門医・指導医の指導を受けながら豊富な症例を経験することが出来ます。脳卒中診療についてはエキスパート集団である脳卒中科との連携により科学的根拠に基づいた高いレベルの脳血管内手術及び直達手術を修練できます。また研究面においては脳腫瘍や神経再生医療に関した基礎研究だけではなく、神経解剖に関する卒後教育を通じて手術技術の向上を図ることが可能ですし、豊富な診療経験を活かした臨床研究の指導をうけることも可能です。予定手術だけでなく、救急疾患の緊急手術なども多く、多忙ではありますが、その分得られることはたくさんあると思います。初期研修で得た知識、技能を思う存分発揮していただき、さらなる飛翔ができるようにやる気のある先生を男女問わずお待ちしております。また当院は病床数も多く、その分勤務医数も多くなりますが、当大学出身者だけではなく、様々な大学の出身者で構成しています。実際、現在脳神経外科医局に勤務している医師のうち半数は他大学出身者です。学会出張先での食事会や、医局行事とは別の食事会なども企画し交流を深めています。このようなこともあり、医局員同士の意思疎通は良好です。一度見学に来ていただくと良くわかると思いますので、興味を持たれた方はご連絡ください。お待ちしております。

■ 募集要項

・採用予定人数	3～5 人（脳神経外科）／ 2 人（脳卒中科）
・給与／月額	月額 320,299 円（2024 年度実績・週 37.5 時間の場合・みなし固定残業手当を含む） 別途、賞与、超過勤務手当、その他各種手当支給あり
・当直回数／月	4 回／月（脳神経外科・脳卒中科共通）
・当直料／回	当直 12,000 円／回（脳神経外科・脳卒中科共通）
・その他	カフェテリアプラン（選択型福利厚生制度）2024 年度 55,000 円/年
・応募連絡先	担当者 中江俊介（脳神経外科） 〈秘書〉村山（脳卒中科） 電話番号 0562-93-9253（脳神経外科・脳卒中科共通） E メール neuron3@fujita-hu.ac.jp （脳神経外科・脳卒中科共通）